

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大船渡市			代表者名	洲上 清
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画政策部デジタル戦略課	連絡先電話番号	0192-27-3111
担当者役職	係長	担当者氏名	及川慎一郎	連絡先E-mail	
住所	022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	大船渡市DXセミナー		
概要	①市職員向けのDXセミナーの開催 ②市内事業者及び市民向けのDXセミナーの開催				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) スマートシティ				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	304	令和7年1月23日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月27日	講演(実地)	15時00分	17時00分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	シーパル大船渡		最寄駅	盛
	所在地	岩手県大船渡市盛町字日本桮8-6		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	事業者及び市民を対象としたDXセミナーとして、事業者・市民・行政へのAI活用のインパクトや、特に本市のような小規模自治体では、自治体と中小企業や団体が連携することで地域の将来への可能性が広がることなどを講演いただいた。生成AIの高度な活用の実演では、動画ファイルからの要約資料作成が短時間で可能であることなど、参加者の関心を引く構成となっており、新たな技術が日々生まれている中、有効に利用することで事業・業務効率の改善ができるというヒントを得た点などが参加者にも非常に好評を得た点や、その活用を進めるため地域の連携が必要であることを共有できたことがよかった。
アドバイザーへの要望事項	本市における事業者・市民・行政のDXに、引き続きお力添えをいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	22人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	9	4	8	1

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	・行政内部の業務のデジタル活用は徐々に進んでいる状況にあるが、市民、地域、事業者等を含む市全体としての意識醸成はまだ進んでいるとは言い難い。市全体の利便性や幸福度が向上するとともに、市民がこの地域で暮らすことの誇り、幸福が実感できるまちとなるよう、様々な地域課題の解決に取り組んでいくための土壌づくりが必要である。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	・デジタル田園都市国家構想の目的を理解し、①市全体でDXに対する意識のボトムアップを進めるため、事業者・市民に対して意識付けを図る。②セミナー受講者がDX推進の必要性を理解し、主体的にDXに関わるキーマンとなる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<p>・本セミナーで重点的に講演いただいたのは、今後、AI活用の必要性はさらに高まり、業種に関わらず欠かせないツールになること、また、特に地方においては地域内の官民連携、地域間の連携とともにシェアリングエコノミーが重要であることなど。地域の発展・継続のため、様々な分野においてデジタル活用により課題解決、利便性向上や産業振興を図っていく必要性を、参加者の当事者意識を持たせつつ分かりやすく講演いただいた。</p>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<p>・生成AI等の活用イメージがない参加者が多かった中で、動画の要約説明や市の計画資料の分析など、デジタルによる効率化・利便性向上のための技術が飛躍的に進んでいる現状を講演により示していただいたことで、これまで長時間を要していた作業の省力化や企業における課題解決のヒントとなり得ることなど、参加者のこれからの取組意欲に大きな効果があった。また、事業は地域内がすべてではなく、東京に向けたビジネスチャンスはデジタル活用により十分に可能性があることなど、中小企業の取組を喚起いただき、参加者のDX意識醸成につながった。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<p>・特になし</p>	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>セミナーの満足度について、アンケート回答者のうち8割が最高評価の「満足」及び「やや満足」と回答という、肯定的な意見が多くあったことから、有益なセミナーであった。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>高齢化社会においても市民全員がデジタルの恩恵を受けられ、住み続けられるまちづくりを実現する。</p>	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

